

# 全国協議会 ニュース

発行所  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者:品川保弘  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655

## 2004年新春を迎えて

心にゆとりも

特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
会長 海部幸世



皆様、明けましておめでとう  
ございます。

全国協議会も今年で15年目を迎えます。今日までこの活動を継続してこられたのも、全国各地道に活動されてきた皆様のおかげと感謝しております。そして、皆様を支えてくださっているご家族、ともに励まし歩んできた患者さん、ドナーの皆様により感謝申し上げます。この、骨髄バンクを支えているすべての人たちの信頼関係、チームワークこそが、全国的な市民運動の原動力となっているのです。そして、それが私たちの大きな財産であることをあらためて感じております。

いのちと向き合う骨髄バンク運動は、いろいろな面で強さが求められます。つらさに耐えなければならぬこともありますが、ボランティアの皆様は、人一倍強い責任感と使命感を持って、それに心算してこられました。しかし、このような運動だからこそ、心にゆとりを持つこともまた大切です。どうぞ、周りの人たちに對するのと同じように、自分自身も素直に褒め、ねぎらってあげてください。そして、たまにはご褒美も。私たちは、これからのたくさ

んの患者さんとドナーさんとの架け橋にならなければなりません。そのためにも、私たち一人一人が、この活動に携わって良かったといえることが何よりも大事です。

私も、微力ながら皆様のお手伝いをさせていただきたいと存じます。力を合わせて頑張りましょう。

### 造血幹細胞移植の推進を

厚生労働省健康局疾病対策課  
臓器移植対策室長 塚本 力



新年明けましておめでとうございませう。年頭に当たり、骨髄バンク事業の推進につきまして、一言抱負を述べさせていただきます。

白血病などの血液難病の患者の方々に骨髄移植の機会を広く公平に提供することを目的とする骨髄バンク事業も、13年目を迎えることとなりました。これまで、骨髄提供希望登録者は17万人を数え、骨髄バンクを介して行われた移植は5000例を超えており、骨髄提供希望者として登録された方々や実際に骨髄を提供された方々、さらには事業に携わる関係者の方々並びに全国各地で支援してくださるボランティアの皆様への御支援、御尽力に對して、深く感謝を申し上げます。

骨髄バンク事業においては、ドナー登録者数30万人を目標に

する全国各地のボランティアの皆様、日本赤十字社、医療、行政関係者の皆様のご尽力の賜物であり、心から感謝と敬意を表します。

私もはより決意を新たに、ドナー登録30万人の達成に向けて関係者との連携を深めて、普及広報とドナー登録推進を図るとともに、ひとりでも多くの患者さんに移植のチャンスが得られますよう、コーディネート迅速化と業務改革に取り組みまいります。また、国際協力の推進とドナー安全対策の一層の強化を図ってまいります。

さらに、さい帯血バンク事業との連携により、両機関がいわば車の両輪としてその社会的責務を果たしてまいりたいと思っております。

特に、本年は医療保険適用により、患者負担金の大幅な軽減が実現されますよう念願しております。

終わりに、貴協議会の皆様の益々のご発展と皆様のご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。



理事長 高久史磨

2004年の新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。さて、骨髄バンク事業は開始から12年を経過し、昨年末現在、ドナー登録者数は18万人、骨髄移植数は年間7000例を超え、累計移植数も5300例に達しております。

これもひとえに、全国骨髄バンク推進連絡協議会をはじめと

血病や再生不良性貧血などの難病に苦しむ患者さんを一人でも多く救うことを使命としており、最終的に骨髄移植に繋がるより確実なドナー登録希望者に登録いただくことが重要であり、私もはより決意を新たに、ドナー登録30万人の達成に向けて関係者との連携を深めて、普及広報とドナー登録推進を図るとともに、ひとりでも多くの患者さんに移植のチャンスが得られますよう、コーディネート迅速化と業務改革に取り組みまいります。また、国際協力の推進とドナー安全対策の一層の強化を図ってまいります。

さらに、さい帯血バンク事業との連携により、両機関がいわば車の両輪としてその社会的責務を果たしてまいりたいと思っております。

特に、本年は医療保険適用により、患者負担金の大幅な軽減が実現されますよう念願しております。

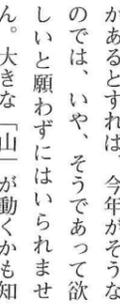
終わりに、貴協議会の皆様の益々のご発展と皆様のご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。

最後に、貴協議会のみならず、造血幹細胞移植の推進に努め、一人でも多くの方が骨髄バンクに登録してくださることを期待しております。



血液事業部長 白戸恒勝

2004年の新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。さて、骨髄バンク事業は開始から12年を経過し、昨年末現在、ドナー登録者数は18万人、骨髄移植数は年間7000例を超え、累計移植数も5300例に達しております。

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

### 骨髄バンクNOW

●11月のドナー登録状況  
11月のドナー登録者数は2116人、取消者数は516人、実質増加数は1600人で前年同月の登録者数を19%上回りました。登録会は128回実施され(うち献血併行型は105回)、合計1177人(登録者の56%)でした。東京17回、愛知14回、富山、京都9回、新潟8回、福島、石川7回など各地で活発に開催されました。各県の大学学園祭会場など定例化したイベント併催型登録会もあり、福島、愛知、京都、兵庫の各県では行政主体で順調に登録会が開催されています。新潟では、大型スーパーでの集団登録会が毎回大きな実績をあげています。また、緊急地域雇用創出基金を活用し、着実に開催数、ドナー登録者数を延ばしている富山の実績は目を見張ります。

●ドナー適格性判定基準が一部改訂されました  
本年11月より、日赤の間診基準の改訂に伴い、ドナーの適格性基準を一部変更しました。遺伝疾患、精神疾患などに関して制限が厳しくなり、またヤコブ病やマラリアの流行地域に渡航した場合、その滞在期間によって提供できなくなる場合があります。ドナー適格性判定基準は、その時々で新たな疾病や、問題点について改訂されます。ドナー登録時の基準とは異なり、登録はできても提供ができないこともあります。ドナーの安全確保および患者さんの安全対策上の取り扱いですので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

●骨髄バンクニュース23号が発行になりました  
日本骨髄バンクニュース23号が発行になりました。今号は「移植5000例到達記念号」です。9月28日開催の骨髄バンク推進全国大会の様相を中心に、特別対談や大会レポートのほか、映画「半落ち」チャリティ試写会情報や10月の推進月間報告、さらにドナーアンケート結果、安全情報等を掲載。記念号にふさわしい充実した内容をお届けします。なお、「移植希望患者へ寄付依頼」の新聞報道も

あり、検討の結果、登録患者あてのバンクニュースには振込用紙を同封しないことといたしました。

●映画「半落ち」1月公開  
劇場用映画「半落ち」は骨髄バンクを題材にした社会派サスペンスですが、原作者 横山秀夫さんのご家族が骨髄バンクを介して骨髄提供を受けた体験がベースとなっており、映画でも非血縁者間骨髄移植の「生きている実感、見ず知らずの誰かと共有する」という本質がしっかりと描かれています。一般公開は全国東映系劇場で1月10日からです。

●委員会開催予定  
1月23日(金)、臨時理事会、臨時評議員会を開催します。今回は主に患者負担金の値下げを検討課題としています。傍聴をご希望の方は財団事務局までお申込みください。  
臨時理事会 1月23日(火) 15:00~17:00 廣瀬ビル2階会議室  
臨時評議員会 臨時理事会と同時開催

●日本骨髄バンクの現状(2003年11月末現在)

	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,116	179,366	225,939
患者登録者数	153	2,327	15,292
骨髄移植例数	65	-	5,266

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクボランティアダイヤル  
フリーダイヤル  
バンクに とうろく  
0120-892-106

第138号の冒頭記事で「東京モーターショーで264人が登録」と掲載されていま

### 訂正とお詫び

したが、「234名」の誤りでした。深くお詫び致します。

い。



### 第37回 理事会報告

12月21日  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会事務局  
ナンバーの有効活用について  
ポスター作成について

イオン(株)店舗で  
募金活動

- 第6回公開フォーラムについて
- 保険適用関連・請願署名
- 箱根駅伝PR活動について
- 日赤献血ルーム調査について
- WEBサイト管理方法について
- 情報誌「骨髄バンク」バック
- 財団理事問題について

2000年8月よりイオン株式会社各店舗に「白血病患者支援募金箱」の設置をご協力いただいておりますが、昨年引き続き今年も、1月21日から2月20日までの1カ月間、全国の店舗、カンパニー事務局、事業本部の事務所等で重点的に募金呼びかけを行っていただけるといになりました。主に各店舗のサービスカウンター付近に募金箱と夏目雅子さんのポスターが掲示され募金協力を呼びかけます。ぜひとも足をお運びくださ

### 関東甲信越ブロックセミナー 参加報告

11月29日から30日にかけて塩原温泉は、雨の2日間でした。本来この時期は雪が降っているはず。どうして……今年には異常な気象状態です。



報告させて頂きます。保険適用署名活動の重要性を全国協議会副理事長木村さんから説明を受けました。そして茨城の会、牛島さんから資料を基に茨城県内の取り組み方などの報告がありました。その後、各県の状況報告を聞き、「とちぎの会」の初動の遅れや政治家との接点の重要性を実感しました。

### 学会市民公開シンポジウム 感謝の集い

さる12月20日、第26回日本造血細胞移植学会最終日に市民公開シンポジウムが開催されました。学会が主催、骨髄移植推進財団、全国協議会が共催、神奈川県骨髄移植を考える会の協力により企画したものでした。

開かれた医系学会に相応しく多岐に渡った内容が盛り込まれ、特に今回、日本ドナー家族クラブの岡澤洋一会長に特別講演をお願いしました。米国留学中の娘さんを事故で亡くされ、臓器提供ドナーとなられた経緯から、その後同クラブを立ち上げ積極的に活動を展開されています。静かに語られる口調に、いのちの尊さを訴える強い気持ちの伝わり、骨髄移植とは異なる移植医療の一端を知り、とても感動的でした。



また地元ハーマニカトリオの軽快な演奏、移植患者さん、提供ドナーさん3組による対談など、とても充実した内容の会合でした。御協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。(三田村)

### 各地の たより

#### 静岡 青空の天使たち

急性リンパ性白血病のため、5年前に相次いで亡くなった乗松由佳さんと、平野智也さんの生前の記録を集めた「青空の天使たち」の作品展が10月に、静岡県下3会場で行なわれました。

二人の誕生から亡くなるまでの写真や絵などが、エピソードを加え、多数展示されました。

由佳さんのお母さんは「短かったけど、子供が必死に、そして明るく生きた姿を伝えたい。こうして病気の理解が少しでも深まり、ドナー登録する人が増えて欲しい」と訴えています。



作品を見ていると、病氣と前向きに一所懸命辛い治療に耐え、一日一日を大切に良く頑張ったのではないかと、熱くこみ上げてくるものを感じます。この作品を通して、一人でも多くの人に命の大切さ、頑張る事を感じて貰いたい。この作品が、静岡だけではなく全国の皆さんの目に留まり、病氣への理解、骨髄バンク等、いろいろな事を考えていただくきっかけになっていただけたらと思います。(武内)

### 心からのご寄付を ありがとうございました

11月20日～12月19日

株式会社タクトコーポレーション	現金	30,000円
社団法人川越青年会議所	現金	20,000円
武田聡美	切手	3,087円
宇治原睦	現金	50,000円
竹内裕美	現金	2,000円
金剛 毅	現金	10,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
大瀧農夫男	現金	1,000円
切明 蹊	現金	5,000円
笠井幹子	切手	1,890円
美濃加茂あじさいライオンズクラブ	現金	108,202円
宮代町立百間中学校生徒会	現金	24,159円
宮代町立百間中学校PTA	現金	20,000円
熊谷シニアライオンズクラブ	現金	150,000円
櫻井康司	現金	30,000円
島村敏男	現金	100,000円
武井好孝	切手	1,305円
川内骨髄バンクを支援する会	現金	300,000円
匿名	現金	120,000円
(株)バイリンガルグループ	現金	1,650円
北海道骨髄バンク推進協会札幌支部	現金	50,000円
岡元直樹	現金	2,000円
匿名	現金	375円
匿名	現金	6,808円

#### ●佐藤さち子患者支援基金

水上みち子	現金	30,000円
切明 蹊	現金	5,000円
ピアノ三重奏(東京)	現金	20,000円
牧野礼男	現金	8,500円
萩原千春	現金	5,000円
美濃加茂あじさいライオンズクラブ	現金	100,000円
土田英順	現金	89,320円
伊沢武登	現金	3,600円
北海道骨髄バンク推進協会札幌支部	現金	50,000円
山口芳子	現金	10,000円
金子進一郎	現金	1,000円
東原順子	現金	3,000円
匿名	現金	35,000円
北海道骨髄バンク推進協会帯広支部	現金	97,875円
金子道子	現金	5,000円

#### ●白血病患者支援基金・募金箱

堤健装	現金	2,726円
北海道骨髄バンク推進協会札幌支部	現金	50,000円
山田わか	現金	15,000円
サークルK加茂中富店	現金	7,752円
柴谷大樹・春香	現金	6,000円

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
三井住友銀行 新宿通支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
特定非営利活動法人  
全国骨髄バンク推進連絡協議会

### 最新医療情報 その② 昨今のエイズ事情

12月1日は世界エイズデーです。国連の統計によると、世界のエイズ感染者は4000万人に達しています。毎年亡くなる患者の数も300万人に及びますが、一筋の希望だった米国のエイズワクチンの開発プロジェクトは、事実上「失敗」という判定を受けました。世界保健機関(WHO)の「保健緊急状況」という言葉は決して誇張ではありません。

中国の感染者の数は少なく見積もっても100万人を上回るといわれます。毎年30%ずつ増え、10年以内に1000万人を突破すると予想されているため、「エイズ工場」という言葉まで出ているほどです。

観光客の多い桂林の位置する広西省の場合、性売買を行っている人の20%は感染者だと推定されています。最近、日本の会社の中国での買春旅行も問題になりましたが、「エイズ感染」という点でも非常に問題です。

日本では、地方病院一般外来で普通に胸部レントゲン撮ってカリニ肺炎を疑い、HIVを調べたら陽性であったという時代になっています。末期になるまで自分もまわりにも分からない、というのが真実です。

今回、性的接触などによるエイズ感染者数が、厚生労働省への報告件数の約4倍の約1万2000人に達する可能性のあることが、厚生省HIV研究班動向解析グループの推計で分かりました。そして、現在のプライバシー保護のため、正確な数字を把握できないのが問題です。日本は新規感染者・患者が増え続け、将来的な感染者数予測を見直す必要が出てきました。

エイズの予防には自己抑制と性格的な強さが必要です。予防に必要な事項は個人の自由を制限するよう思われますが、これらは有効であり、命を救うこともあります。

1. エイズに感染していることがわかっている、または疑われる人との性交を避けます。
  2. 外傷、鼻血、その他により出血している人のHIVの有無がわからない場合は、血液との接触を避けます。
  3. 性的パートナーとなる可能性のある人に自分がHIV陽性であることを伝えることは、法的、倫理的、道徳的に必要です。
  4. エイズウイルス(HIV)陽性の女性は妊娠する前に子供に対する危険性と、胎児が感染するのを防ぐための最新医学情報について、カウンセリングを受けるべきです。
  5. HIV陽性の女性は、子供に母乳を与えてはいけません。
- 安全な性行動は感染の危険を減らせます。コンドームを使用していても感染の危険は残ります。ウイルスの伝播を完全に防ぐには、性交渉を行わないことしかありません。

#### 埼玉 読書感想文表彰式

12月16日、陸上自衛隊白老駐屯地(隊員約150名)において、献血併行ドナー登録会を行いました。

献血車の滞在時間(2時間)の関係で、隊員の方には事前の録会は苦小牧では初の試みで、陸上自衛隊衛生科及び日赤との交渉等で試行錯誤しましたが、何とか実施することが出来ました。

今回、自衛隊を対象にした登録会は苦小牧では初の試みで、陸上自衛隊衛生科及び日赤との交渉等で試行錯誤しましたが、何とか実施することが出来ました。

恒例となった「チャリティー100人展」が名古屋市のギャラリー「聚」さんで開催されました。このチャリティー展は多くの作家の方のご協力で10回目を数え、今年は100名の作家にご支援をいただきました。前

#### 苦小牧 白老駐屯地で初めての 献血併行ドナー登録会

12月1日から5日まで、毎年恒例となった「チャリティー100人展」が名古屋市のギャラリー「聚」さんで開催されました。このチャリティー展は多くの作家の方のご協力で10回目を数え、今年は100名の作家にご支援をいただきました。前

#### 愛知 チャリティー100人展

12月1日から5日まで、毎年恒例となった「チャリティー100人展」が名古屋市のギャラリー「聚」さんで開催されました。このチャリティー展は多くの作家の方のご協力で10回目を数え、今年は100名の作家にご支援をいただきました。前



自衛隊との交渉時に感じたことは、一担当者との交渉では話が進まないもので、トップ(隊長)と直接交渉した方が話がスムーズに行くということでした。

今後、近隣の自衛隊にドナー登録会を開催できるよう働きかけていこうと思っています。(太田)

